

地域を支える「地域包括ケア病棟」

「地域包括ケア病棟」とは

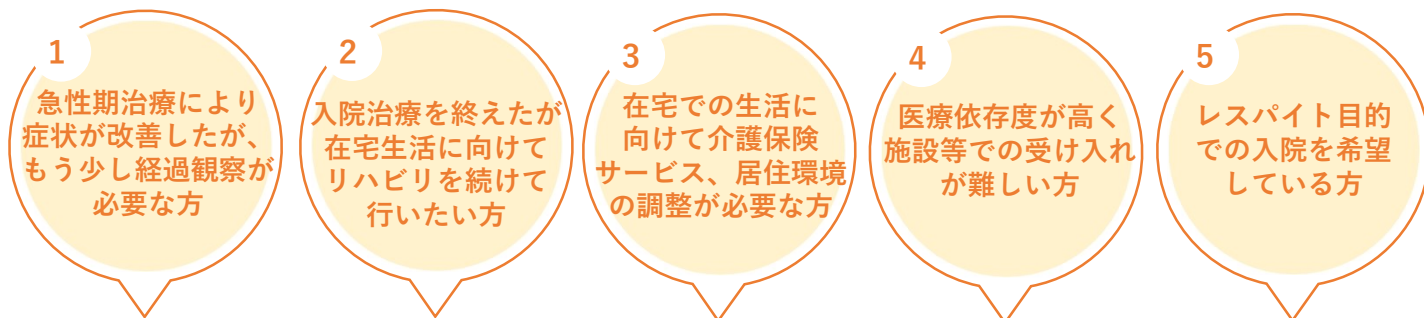
地域の方々が、再び安心して住み慣れた地域(自宅や介護施設)への復帰に向けた支援をする病棟です。

医師・看護師・リハビリ・医療ソーシャルワーカーなど様々な職種のスタッフが協力して支援します！

「地域包括ケア病棟」 3つの役割



入院の対象となるのは



※レスパイトとは

介護者の日々の疲れ、冠婚葬祭、旅行などの事情により、一時的に在宅介護が困難となる場合に入院の受け入れを行い、介護者の負担軽減(休息)を目指す仕組みです。

入院から退院までの流れ

主治医の指示のもとリハビリを行いながら、カンファレンス等を通じて各専門職が連携を図り、安定した在宅復帰に向けた準備を行います。



お問い合わせ

入院に際しては個別にご相談をお受けいたします。
地域連携室までご連絡ください。

「かかりつけ医」ってなあに？

- 健康に関することを何でも相談できます。
- 必要な時は専門の医師・医療機関を紹介します。
- 身近で頼りになる医師です。

「かかりつけ医」をもつメリットは？

- 日頃の状態をよく知っている「かかりつけ医」であれば、ちょっとした体調の変化にも気づきやすいため、病気の予防や早期発見・早期治療が可能になります。
- 「かかりつけ医」がいれば病気や症状、治療法などについての的確な診断やアドバイスをしてくれます。
- 「かかりつけ医」は必要に応じて適切な医療機関を紹介してくれます。

豊岡中央病院は、内科を中心とした総合診療を行っております。

あなたや身近な方の「かかりつけ医」としてご相談ください。

当院は、

- ◆ 紹介状は必要ありません。
- ◆ 待ち時間の短縮に努めています。
- ◆ 画像検査（CT・MRI）は、可能な限り受診当日に受けられるよう体制を整えています。
- ◆ 人間ドックや健康診断の受診を通じて、日頃の健康維持をサポートします。

ご不明な点がございましたら、お気軽にご相談ください。